



発行 党員委員会
日本共産党
春日部市中央
春日部市
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

3月29日告示 4月7日投票 県議会議員選挙

暮らし・福祉最優先の県政を

3月29日告示、4月7日投票で県議会議員選挙がおこなわれます。日本共産党は、秋山文和県議の再選をめざして、全力でがんばります。

開発優先、暮らし・福祉切り捨ての上田県政

埼玉県政の特徴は、①開発優先、暮らし・福祉切り捨て



秋山文和県議

の国言いなりの政治 ②農業・中小企業切り捨て、誘致型の産業政策 ③県の機構の統廃合・民営化と職員定数削減 ④憲法改悪「戦争できる」教育「改革」の推進 ⑤安全安心に程遠い災害・消防対策です。

「無駄なダム」と批判の大きな八ツ場ダムに、これまでに971億円もの県費を投入し、今後さらに131億円投入する計画です。患者家族らの反対を押し切って、さいたま新都心の塩漬け土地に、531億円かけて県立小児医療

センターを移転しました。同規模の春日部市立医療センターの移転費用151億円の3・5倍です。その一方で、福祉や教育分野の補助事業を次々と切り捨て、重度心身障害者の医療費助成は、高齢者を除外し、所得制限まで設けました。さらに、保健所の統廃合、県立高校の統廃合などで県職員は3500人(35%)も削減し、県民サービスが大きく後退しています。

日本共産党の議席は 県民要求実現の力

暮らし・福祉切り捨ての冷たい県政にきっぱり対決し、秋山文和県議を含めた5名の日本共産党県議団は、県民運動と力を合わせ、県民要求実現に取り組み

- ・ 公立夜間中学の実現
- ・ 特別支援学校の増設

- ・ 障害者入所施設の建設
- ・ 医学生への特別奨学金を實現し、すでに31人の医師が誕生

などを実現してきました。

秋山文和県議は 実現します

- 高すぎる国保税を引き下げ
- 特養ホームの待機者ゼロへホームの大幅増設と職員待遇の改善
- 医師不足解消へー県立大学に医学部を設置
- 保育所増設で待機児ゼロ
- 学校給食費無償化
- 庄和高校も対象の高校統廃合計画は撤回。教職員の増員で少人数学級を
- 春日部駅周辺連続立体交差事業にあたり仮設東西地下通路を先行して設置
- 河川改修と貯留施設の整備などで水害ゼロへ

大野とし子議員一般質問

空き家対策は喫緊の課題
実効ある対策で促進を



12月11日、大野とし子議員は、①住民の命を守るために、庄和総合支所にも災害対応の拠点②実効ある空き家対策の促進で住民の不安解消をについて一般質問を行いました。

庄和総合支所に職員増員を

7月豪雨災害で、倉敷市真備町では、51の方が亡くなりました。災害が甚大になった背景に、真備町が合併自治体であったために、支所の職員が対応に戸惑ってしまった

ことも要因とされています。

専門家からも合併した自治体の災害対策が空洞化している事が指摘されています。空洞化の原因は、支所の職員が減らされている事、合併によって職員がその地域をよく知らないことなどがあげられています。

堤防未改修の中川の決壊はありうることです。災害対策本部と一体に庄和総合支所の災害対応の強化は求められています。合併当時100人以上いた職員が現在31人と減らされ、防災の事務を所管する総務担当の職員は6人で、多くの事務分掌を担当します。大野議員は、総合支所の職員を増員するとともに、職員の災害対応へのスキルアップのために、職員全員で図上訓

練を行うこと、いざという時には総合支所長を中心に3人の課長が連携してリーダーシップを取れるようにすること、防災担当は専門配置すること求めました。

市長は「大規模災害時は、職員全員体制で、重点的に対応していく。」と答弁し、総合支所の機能強化への対策は示しませんでした。

管理不全空き家解体の単独補助を

全国の空き家は、800万件を超え、春日部市でもこの間の調査で、1108件の空き家、そのうち管理不全空き家が66件となっています。

10月の台風24号で、空家の大木が倒壊するという出来事がおこりました。空き家周辺の住民は、樹木や雑草の繁茂、防災、防犯、衛生面など多くの不安を感じています。空き

家対策は住民の不安解消のために喫緊の課題です。

市は、解体後に新築するなど活用された場合に補助をする「空家リノベーション成制度」を検討していますが、市が行ったアンケートにおいて、多くの市民は解体時の財政的支援を要望しています。

大野議員は、管理不全空き家解体を促進するためには、解体だけの補助が必要であることや両方の補助をしている自治体では、解体だけの補助が多く活用されている事例をあげ、解体単独の補助も設置していくことを求めました。

都市整備部長は、「解体した後、新築をするなど、新たな価値を見出すことで、街の活性化につながる。解体だけの補助は考えていない。」と答弁。空家リノベーション成制度の評価も含め、空き家対策促進に取り組むことが求められます。

市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外 小児救急電話相談#8000

1/20(日) わかば内科医院(内科系)小淵1593 Tel.753-3530 久野医院(小児科系)六軒町204 Tel.737-1234 渡辺整形外科(外科系)西金野井309-12 Tel.746-0007

1/27(日) 八木崎診療所(内科系)春日部6973-1 Tel.752-2195 いぶきこどもクリニック(小児科系)大枝309 Tel.735-0854みやざわ耳鼻咽喉科(外科系)中央1-52-8 Tel.745-8733

